

# 日本たばこ産業（JT）岩手支社と岩手大学との提携講義 実施要領

## 1. 目的

岩手大学では、令和5年9月に地域協創教育センターを開設し、学生と地域との協働を恒常的に促進するイノベーション・commons（共創拠点）の実現に向けた地域協創教育機能の強化に資する取組を進めており、その取組の1つとして、アントレプレナー人材育成及びソーシャルイノベーション人材育成に資する全学対象プログラム「イーハトーヴ協創コース」を展開することとしている。

イーハトーヴ協創コースでは、地域社会との協創により高い専門性と実践力を備えた「二刀流人材」を育成することを目指し、令和7年度から本格的にカリキュラムを始動することとしているが、それに先立ち、令和6年度においては、日本たばこ産業（JT）岩手支社との提携講義を実施する。

本講義では、「ほんとうに豊かな地域社会とは？という問いかけに真摯に向き合う機会を通じて、自分なりの答えを探求するとともに、多様な視点があることを学び、それらを統合しながらより良い社会を構想する実践的な場を提供することで、学生一人ひとりが自ら、「心の豊かさを、もっと」実感できる、より豊かな社会を構想するきっかけを創ることを目的とする。

## 2. 講座内容

### (1) 狙い

対立やジレンマを乗り越えていく能力を、フィールドワークを通じて実践的に学ぶ。これらにより、「心の豊かさを、もっと」実感できる社会を構想する機会を創出するとともに、対立や分断を乗り越えて、未来社会を構想し、自ら作り出していく能力を育成する。

具体的には岩手県内の特色ある農業の持続可能性や文化、そこで働く人々の生活と社会、アンコンシャス・バイアス、ダイバーシティなどをテーマとした講義、地域の農家との対話及びフィールドワーク（岩手町）等を実施する。

#### <達成成果>

- ・ アンコンシャス・バイアスについての理解と自分の気づきを得る
- ・ 理解しあうための対話方法/リサーチ方法を活用できるようになる
- ・ 自分からできるアクションプランについて/計画と実践を構築できる
- ・ 継続した取り組みとするための、自らの学びをデザインする能力の実践の場とする

### (2) 講座名

社会連携学A ～豊かな地域未来構想実習～

### (3) 日程

令和6年9月24日（火）～27日（金）

### (4) 会場

岩手大学学生センターA棟 G21講義室

実施日	授業内容
9月24日（火） 10:30～18:30	<b>知る理解する</b> それぞれの、思い込みチェック ⇒アンコンシャス・バイアス/認知/対話 多様な視点からの、地域と歴史の理解
9月25日（水） 10:30～18:30	<b>考える/ディスカッションする</b> 思い込みや前提条件を外して、『問い』を考える。 地域文化と自然、経済のバランスの考察

9月26日(木) 終日	<b>フィールドワーク実施</b> 岩手町での実践学習。アクティブ・リスニングを活用して、地域で活動する農家等との対話を通じて探求。
9月27日(金) 10:30~14:40	<b>企画構想力</b> 『ほんとうの豊かさ』について、グループワーク。プランをまとめて、プレゼンテーション。

(5) 受講人数

40名